

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	就職基礎講座(Job Hunting Basic Course)		授業コード	A031301
担当教員名	安田 幸夫、郡 弘文、津田 克巳、森田 和子、坪倉 篤志、園田一則、島元 世秀		科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	就職する際に必要な基礎知識を得ることができる科目です。必ず受講して下さい。			
受講心得	<p>●多数の学生が受講する授業になりますので、私語を慎み、他の学生の勉学の妨げにならないようにしてください。授業を自己を律するための訓練と捉え、真面目に課題に取り組んでください。</p> <p>●出席は厳密にとります。遅刻は10分まで認めますが、それ以上の遅刻は欠席扱いとします。ただし、授業への参加は認めますので、後ろの席に静かに着席してください。</p> <p>●携帯電話、スマートフォンなどのモバイル機器または電気電子機器の使用は禁止です。電源を切って、カバンの中にしまってください。電源を切っても、テーブルの上に置いている場合は注意の対象となります。指示に従わない場合は、機器を預かるとともに、出席カードを取り上げます。留学生も同様に扱います。</p> <p>●教室は飲食禁止です。飲食物はカバンの中にしまってください。また、紙コップの飲み物は持ち込まないでください。体調維持のための飲み物の持ち込みは認めますので、授業前に許可を取ってください。</p>			
教科書	なし			
参考文献及び指定図書	この授業は就職支援の一端であり、継続的に自分で学習することが必要です。授業以外にも自分にあった問題集を購入し、試験に備えた勉強をしてください。			
関連科目	就職講座(3年後期)、SPI講座(3年後期)、大分の産業(2年後期)			

授業の目的	基礎学力のうち一般常識および作文力を身につけて就職活動に備えます。
授業の概要	就職試験では、通常、筆記試験での基礎学力確認と、面接試験による人物評価が行われます。このうち筆記試験では、一般常識、課題を与えられての作文、SPI、専門科目がありますが、企業・職種によって、用いられる試験は異なります。この講義では、筆記試験のうち、多くの企業が行う一般常識と論作文について学びます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：就職活動意識付け講座 受講の際の注意事項の説明を受けた後、今後の就職活動についての基本的な心構えを知る。	
第2週：一般常識テスト 現状の一般常識の程度を把握し、今後の勉学に役立てる。	
第3週：職業適性検査 職業適性検査(GATBテスト)を行い、各自の適性、弱点等を見極め今後の活動に役立てる。	
第4週：一般常識のテスト形式の課題と解答解説(1) 一般常識のテスト形式の課題を行い、解答・解説講義で学びながら自己採点を行い、今後の勉学に役立てる。	宿題
第5週：一般常識テスト形式の課題と解答解説(2) 一般常識のテスト形式の課題を行い、解答・解説講義で学びながら自己採点を行い、今後の勉学に役立てる。	宿題
第6週：論作文(1) 論作文の書き方を学んだ後、実際に与えられたテーマについての論作文を作成する。後日、添削内容を確認し、論作文の作成技術を理解する。	
第7週：一般常識テスト形式の課題と解答解説(3) 一般常識のテスト形式の課題を行い、解答・解説講義で学びながら自己採点を行い、今後の勉学に役立てる。	第2週に実施した一般常識テスト結果の配布と各種評価の解説を行う。

第8週：職業適性検査の結果配布と解答解説解説		
第3週に実施した職業適性検査の結果の配布と各種評価の解説を行い、自己の評価、弱点等を認識し今後の活動に役立てる。		
第9週：一般常識テスト形式の課題と解答解説(4)	一般常識のテスト形式の課題を行い、解答・解説講義で学びながら自己採点を行い、今後の勉学に役立てる。	宿題
第10週：一般常識テスト形式の課題と解答解説(5)	一般常識のテスト形式の課題を行い、解答・解説講義で学びながら自己採点を行い、今後の勉学に役立てる。	宿題
第11週：一般常識テスト形式の課題と解答解説(6)	一般常識のテスト形式の課題を行い、解答・解説講義で学びながら自己採点を行い、今後の勉学に役立てる。	宿題
第12週：論作文(2)	与えられたテーマについての論作文を作成する。 後日、添削内容を確認し、自分に足りない表現技術を知る。	
第13週：一般常識テスト形式の課題と解答解説(7)	一般常識のテスト形式の課題を行い、解答・解説講義で学びながら自己採点を行い、今後の勉学に役立てる。	
第14週：一般常識テスト形式の課題と解答解説(8)	一般常識のテスト形式の課題を行い、解答・解説講義で学びながら自己採点を行い、今後の勉学に役立てる。	宿題
第15週：一般常識テスト実施(振り返り)	一般常識テスト形を行い学習の振り返りを行う。その結果を今後の勉学に役立てる。	宿題
第16週：期末試験	一般常識についての試験を行い、自己の現状を確認し、就職活動の準備に役立てる	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	遅刻することなく全ての講義に出席するとともに、与えられた課題は遅滞なく提出する。すなわち、授業を自己を律するための訓練と捉え、真面目に課題に取り組むことができる。
【知識・理解】	①大学生としての一般常識を持つ。 ②与えられたテーマについて幅広く議論できるだけの知識を身につける。
【技能・表現・コミュニケーション】	①与えられたテーマについて端的に文章表現できる。 ②制限時間に応じた論作文ができる。
【思考・判断・創造】	柔軟な思考で、作文が書ける。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		14点	25点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	31点	26点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		2点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		2点		
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	<p>●達成水準の目安は以下の通りです。 [S評価]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている(評価点合計90以上)。 [A評価]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている(80以上～90未満)。 [B評価]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている(70以上～80未満)。 [C評価]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている(60以上～70未満)。 [不合格]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしていない(60未満)。</p> <p>●評価点の詳細はつぎの通りです。 出席点=25点(減点法;詳細は「発表・その他」に記載) 授業成果物:2点×15回=30点 課題:2点×7回=14点 一般常識テスト1st=6点(6点に得点率を乗じて算出) 一般常識テスト2nd=25点(25点に得点率を乗じて算出)</p>
発表・その他(無形成果)	<p>●出席点は減点法を適用します。持ち点は25点で、欠席は5点、遅刻は2点を一回ごとに減じます。</p> <p>●出席が8回に満たない場合は、評価点の如何に関わらず単位は取得できません。なお、公欠は出席にカウントしないので十分注意してください。</p> <p>●私語を繰り返した場合、退室を命じます。この場合は、欠席となります。また、毎回の授業で同様の状況が見られる場合は、学習意欲なしと判断し、他の受講者の迷惑にならないよう出席禁止措置をとります。</p>